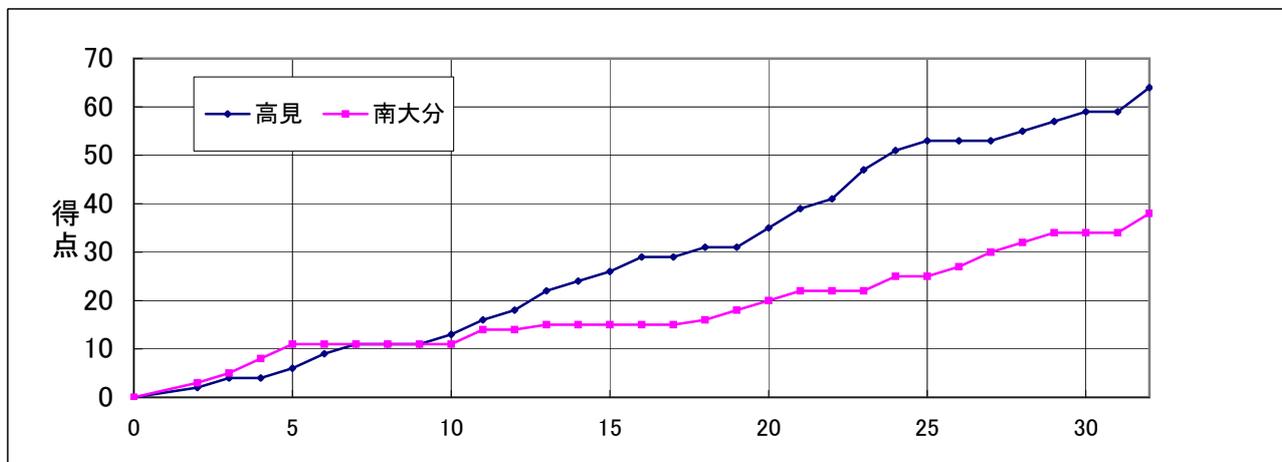


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	A3	12:10	女子決勝																
	期日	2010年(平成22年)3月14日(日)	高見 64 (福岡1位) ○	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	11	—	11	18	—	4	22	—	10	13	—	13	—	—	—	38 南大分 ● (大分1位)
					11	—	11													
18	—	4																		
22	—	10																		
13	—	13																		
—	—	—																		
会場	大分県立総合体育館																			

主審 橋元 一博 副審 江原 直樹



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	—	—	—

### 高見

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 高橋 幸奈	18	0	9	0	2
5	水上 千聖	—	—	—	—	—
6	栗原 沙妃女	3	1	0	0	1
7	扇山 里紗	0	0	0	0	0
8	* 荒川 紗笑子	3	0	1	1	2
9	二見 捺央	0	0	0	0	0
10	* 萩尾 千尋	14	0	6	2	3
11	中尾 イダリア	0	0	0	0	0
12	宮本 玲奈	—	—	—	—	—
13	藤井 園子	2	0	1	0	0
14	* 森田 菜奈枝(C)	14	1	5	1	2
15	栗原 奈那恵	—	—	—	—	—
16	* 有田 かな	10	0	4	2	1
17	森 彩乃	—	—	—	—	—
18						
コーチ	山崎 修					
合計		64	2	26	6	11

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
11:20	20:10 27:56	—	—

### 南大分

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 足立 結唯(C)	8	2	0	2	3
5	* 後藤 優	16	3	2	3	1
6	* 毛利 葉月	5	0	1	3	3
7	* 井上 春佳	9	0	3	3	1
8	平 迫 蒼	0	0	0	0	0
9	近藤 有紗	—	—	—	—	—
10	瀬山 楓	—	—	—	—	—
11	吉田 真弓	—	—	—	—	—
12	後藤 優飛	0	0	0	0	0
13	* 芳山 愛実	0	0	0	0	0
14	児玉 樹里	—	—	—	—	—
15	藤 柴 愛	—	—	—	—	—
16	下高 美咲	—	—	—	—	—
17	八尋 加那子	—	—	—	—	—
18						
コーチ	瀬山 英則					
合計		38	5	6	11	8

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

大会2連覇をねらう福岡第1代表高見中と開催地大分第1代表南大分中の決勝戦となった。1Qは両チームともハーフマンツースでスタートした。南大分は、#4足立と#5後藤の3Pで得点を重ね6-11とする。それに対し高見は、#10萩尾と#14森田を中心に応戦する。高見はシュート後、1-2-2のゾーンプレスで相手のミスを読み、徐々に点差を縮めていく。11-11の同点で1Qを終了する。

2Q序盤、高見・南大分両チームともシュートを打ち合うが、お互いの懸命なディフェンスで、なかなか得点に結びつかない。高見#4高橋、#10萩尾の得点が決まり、突き放しにかかろうとするが、再び#4足立の3Pで南大分は応戦する。高見#14森田のミドルシュートが決まり、4点差がついたところで南大分がタイムアウトを取る。南大分は、エース#7井上にボールを集めたいが、なかなかパスが通らない。一方高見は、シャトルオフェンスを中心に得点を重ねていく。残り1秒で高見#14森田の3Pが決まり、29-15で前半を終了した。

後半は南大分のスローインから始まった。南大分は#5後藤のドライブシュートで得点を重ね、流れを変えようとするが、高見#4高橋の連続シュートや#16有田からのアシストパスを受け#14森田が得点し、高見の勢いは変わらない。4分をきって、17点差がついた時点で南大分がタイムアウトを取るが、高見のかたいディフェンスを崩すことができず、51-25と点差が広がって3Qを終了した。

4Q、南大分#5後藤の3Pや#4足立のミドルシュート、#6毛利のゴール下のシュートで南大分も応戦し、必死に追いつけようとするが、高見#8荒川、#16有田のスティールやルーズボールへの果敢な飛び込みなどの強いディフェンスプレーに阻まれ、得点差は広がっていく。南大分は#7井上がミドルシュートを決め最後の意地を見せるが、終了間際の高見#6栗原の3Pや#4高橋のミドルシュートが決まり、64-38で高見中が勝利を決め、大会2連覇に輝いた。

記載者 西川、吉田 (所属) 大分県バスケットボール協会